

感染状況を踏まえた本県の対応について（案）①

資料2






■警報レベルの引き上げ（即日～1/22日途）

レベル2（特別警報）⇒レベル3（感染拡大緊急警報）へ

【対応】

- ①「うつらない」「うつさない」ための感染防止行動を要請
- ②全県でGo To Eatの人数制限を実施（1/9～1/22の2週間）
- ③高齢者及び基礎疾患のある方並びに高齢者施設、医療機関の職員等向けに、会食等の必要性について、慎重に判断するよう要請

（参考）県の対応方針

表示		発令目安	対応例
	レベル4 (緊急事態宣言)	・国指標ステージ4相当 (各指標を総合的に判断)	・全域において、赤圏域の対応 ・その他の必要な対応
	レベル3 (感染拡大緊急警報)	・国指標ステージ3相当 (各指標を総合的に判断)	・緑及び黄にあっては黄圏域の対応、 赤圏域は赤圏域の対応（オレンジ区域 は個別に設定） ・全域における、その他の必要な対応
	レベル2 (特別警報)	・黄圏域が3つから4つ以上 ・オレンジ区域が1つ以上 ・赤圏域が1つ以上	・圏域毎に緑、黄又は赤圏域の対応 (オレンジ区域は個別に設定)
	レベル1 (警報)	・黄圏域が1つから3つまで	・圏域毎に緑又は黄圏域の対応
	レベル0 (持続的な警戒)	・全ての圏域が緑	・県全域において緑圏域の対応

「うつらない」「うつさない」ための感染防止行動

一次感染例：県外からの往来者（感染者）との接触により感染

- ・ 県外旅行に行って県外の方と会食
- ・ 県外からの来県者・帰省者と会食（同窓会等）

⇨ 県外からの来県者と接する際は、お互いにマスク着用を。



二次感染例：会食等を通じて感染

- ・ お互いに手の届く距離で対面で向かい合って会食
- ・ マスクを外して会食

⇨ 会食は「みやざきモデル」の徹底を。



三次感染例：職場等を通じて感染

- ・ マスクなし近距離、対面で打合せ（運動中含む）
- ・ 体調不良の中で出勤（高齢者施設含む）
- ・ 高齢者施設での介護・生活の中で
- ・ 喫煙所でマスクを外して会話

⇨ 勤務中や休憩中もマスク着用。運動などマスクを外す場で細心の注意。

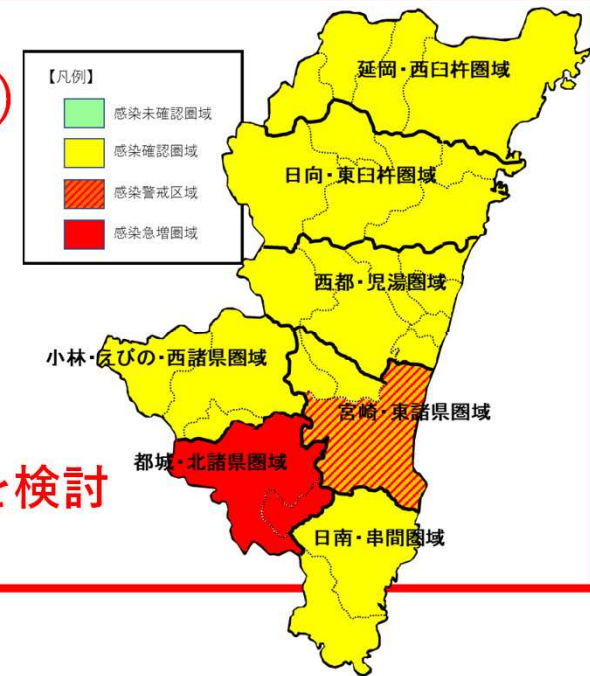


感染状況を踏まえた本県の対応について（案）②

■都城・北諸県圏域を赤圏域化（1/9～1/22）

【対応】

- ①原則、外出自粛要請、イベントの中止又は延期要請
- ②酒類提供飲食店への時間短縮要請
 - ・要請期間は2週間（1/9～1/22）
 - ・20時までの営業時間短縮を要請
 - ・国の臨時交付金（協力要請推進枠）のスキームの活用を検討



（参考）県の対応方針

圏域ごとの感染状況の区分		行動要請例			
区分	一例（以下を目安として、総合的に判断）	県民への要請（外出）	イベント主催者への要請	事業者への要請	
緑	感染未確認圏域	・新たな感染者が確認されていない ・感染者が入院又は療養した日の翌日から起算して14日間を経過している	○制限なし	○実施（国事務連絡を準用）	○ガイドライン遵守
	感染確認圏域	・新規感染者が一定に収まっている	○状況に応じ、慎重に（過去のクラスター発生施設等に注意）	○状況に応じ、実施（規模縮小を含む）	○ガイドライン遵守
黄 オ レ ン ジ	感染警戒区域（※1）	・新規感染者が急増（直近1週間） ・感染経路不明の例が続発（直近1週間） ・感染者集団（クラスター）の続発（※2）	○感染機会に繋がる場面（会食等）の一定の制限（人数、特典等）	○イベントにおける感染機会に繋がる場面（会食等）の一定の制限（自粛規模縮小を含む）	○状況に応じ、感染機会の制限
	感染急増圏域	・新規感染者が急増（直近1週間） ・感染経路不明の例が続発（直近1週間） ・感染者集団（クラスター）の続発	○原則、外出自粛	○原則、中止又は延期	○感染機会の制限

都城市・三股町の皆様へのお願い（1/9～1/22）

- 原則、外出自粛要請、イベントの中止・延期
- 酒類を提供する店（接待伴う飲食店、飲食店等）の皆様には営業時間短縮

⇒「爆発的な感染拡大」段階にあるため、これまでにない最大限の対策が、今、必要

- ・人との接触をできる限り減らす
- ・飛沫感染に特に注意がいる接待伴う飲食店・飲食店での対策

<背景：都城北諸県圏域>

○直近1週間の感染状況は、「爆発的な感染拡大」

（国基準のステージ4（最高段階））

・新規感染者が急増

（①実人数で78人（県全体の42%もの割合）、②人口10万人あたり42.0（ステージ4は25.0）

・病床がひっ迫

（病床占有率52.2%（ステージ4は50%）、県医師会長・看護協会会長もひっ迫を訴え）

・県外から持ち込まれたウイルスが、接待伴う飲食店、飲食店、職場、家族・親族等を介して、広がっている状態で、感染経路不明な例が続発

宮崎・東諸県圏域、日向・東臼杵圏域について

- 宮崎・東諸県圏域や日向・東臼杵圏域も、宮崎市、日向市を中心に、感染拡大
- 今後、感染拡大が続けば、赤圏域（感染急増圏域）化や時短要請などが視野（日向市はオレンジ区域化（感染警戒区域）も）
- 直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数がさらに伸びるか、感染経路不明事例が続発し続けるか、病床のひっ迫度などをはじめ、指標が悪化すれば、関係市町村と協議し、総合的に判断